

INFORMATION

図書館ボランティアレポート！



7/13～7/21の期間、早稲生5名の図書館ボランティアを受け入れました。様々な仕事を体験してもらい、本のおすすめポップとそのスタンドを完成してくれました！

発表！芥川賞直木賞2023上半期！

- 芥川賞：市川沙央さん『ハンチバック』
- 直木賞：垣根涼介さん『極楽征夷大将軍』
- 永井紗耶子さん『木挽町のあだ討ち』



スマホ・タブレット・PCから図書館所蔵本の検索ができるようになりました！

<https://www.kihara-egg.net/ws/>



- 「Egg Web サービスへようこそ」OPAC「本を検索する」をクリック(スマホはダブルクリック)
- 「ログイン」ユーザーID「」パスワード「」
- 「検索」キーワードを入力、「検索」をクリック

今の特集

「海外文学の世界へようこそ」

海外文学ってハードルが高いと思いませんか？実は読みやすい本もたくさんあります。お気に入りの1冊を見つけてみて！

*10月から始まる英語多読キャンペーンに合わせて、小説と一緒に**英語多読本**も紹介します！本、多数あり！参加者には抽選で賞品を進呈！**英語多読本とは？**できるだけ辞書を引かずに優しい本を大量に読むことで、英語を流暢に**読める・聞ける・書ける・話せる**ことを目指す学習法です。

～入門編(短編集等)～

いつも、大切なことを教えてくれる。

『星の王子さま オリジナル版』

サン＝テグジュペリ(作)、内藤濯(訳)/岩波書店
「時間」とは何か。忙しい現代人に問う。



『モモ』

ミヒヤエル・エンデ(作)、大島 かおり(訳)/岩波少年文庫
個性あふれるキャラクターたちが面白い！言葉遊びを楽しもう！



『不思議の国のアリス』

ルイス・キャロル(著)、河合 祥一郎(訳)/角川文庫
少年と犬の思いやりがあたたかい。涙腺が崩壊間違いなし！



『フランダースの犬』

ウィーダ(著)、村岡 花子(訳)/新潮文庫
アルプスの光景が鮮明に描写されていて、その美しさにうっとり！



『アルプスの少女ハイジ』

ヨハンナ・シュピリ(著)、松永 美穂(訳)/角川文庫
人間心理に潜む善と悪！非常に興味深いけど、恐ろしい…。



『ジキル博士とハイド氏』

ロバート・L.スティーヴンソン(著)、田内 志文(訳)/角川文庫



賢者の贈りもの・最後の葉など言わずと知れた短編名作集！

『オー・ヘンリー傑作選』

オー・ヘンリー(著)、大津 栄一郎(訳)/岩波文庫
臆病でコミュ障で妄想が止まらない孤独なハリネズミが愛おしい。

『ハリネズミの願い』

トーン・テレヘン(著)、長山 さき(訳)/新潮社

様々な困難はあるが、16歳ジェナ、シカゴからテキサスへ飛ぶ！

『靴を売るシンデレラ』

ジョン・パウアー(著)、灰島 かり(訳)/小学館

毎晩現れる怪物は何者か。なぜ少年の前に現れるのか。複数の受賞作品！

『怪物はささやく』

パトリック・ネス(著)、シヴォーン・ダウド(原案)、池田 真紀子(訳)、ジム・ケイ(イラストレーション)/あすなろ書房



～一度は聞いたことのあるタイトル～

夢見がちなおてんばだけど、想像力豊かでポジティブなアンの言葉に救われます。

『赤毛のアンシリーズ』

モンゴメリ(著)、村岡 花子(訳)/新潮文庫

マーチ家の個性あふれる四姉妹のお話。友達のような気持ちで読めます。

『若草物語シリーズ』

L.M.オルコット(著)、吉田 勝江(訳)/角川文庫

トム・ソーヤの冒険の続編。トム・ソーヤより面白い！！タイトルに冒険とあるが、アメリカ社会の重い部分を描く。

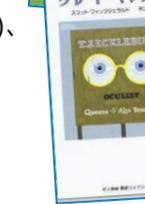
『ハックルベリー・フィンの冒険 上・下』

トウエイン(著)、土屋 京子(訳)/光文社古典新訳文庫

愛する人の為にここまでできますか？

『グレート・ギャツビー』

スコット・フィッツジェラルド(著)、村上 春樹(訳)/中央公論新社



生き残った人は、誰…？

『そして誰もいなくなった』

アガサ・クリスティ(著)、青木 久恵(訳)/ハヤカワ文庫

～現代作品も負けてません！～

ある日を境に、ハリリーの運命の歯車が動き出す！ハリリーの物語が始まる！

『ハリリー・ポッターシリーズ(文庫サイズ)』

J.K.ローリング(著)、松岡佑子(訳)/静山社文庫

ネコ好き必見(笑)！タイムトラベル小説。

『夏への扉』

ロバート・A.ハインライン(著)、福島 正実(訳)/ハヤカワ文庫

南アフリカの少女が起こした奇跡！笑いあり、涙あり、そして色々考えさせられる！

『国を救った数学少女』

ヨナス・ヨナソン(著)、中村 久里子(訳)/西村書店

現代版アガサ・クリスティ！展開が早くわかりやすく、エンタメ性が高め！

『カササギ殺人事件 上・下』

アンソニー・ホロウィッツ(著)、山田 蘭(訳)/創元推理文庫

10代の病気の二人が恋に落ちる話。泣かせる系が苦手な人でも、読みやすい！

『さよならを待つふたりのために』

ジョン・グリーン(著)、金原 瑞人・竹内 茜(訳)/岩波書店

オーガストは普通の男の子。ただし、顔以外は…。全世界300万部の感動作！

『ワンダー』

R.J.パライオ(著)、中井 はるの(訳)/ほるぷ出版

無職のダメ男と壊れかけ家庭ロボットの友情物語。こんな可愛いロボット、欲しくない？

『ロボット・イン・ザ・ガーデン』

デボラ・インストール(著)、松原 葉子(訳)/小学館文庫

～戦争に関する小説もありますよ！～

目の見えない少女と、ナチスドイツの若い兵士。いつまでも記憶に残る小説。

『すべての見えない光』

アンソニー・ドーア(著)、藤井 光(訳)/新潮社
ノーベル文学賞作家の作品！500人以上の女性から聞き取りを行い、書き起した！

『戦争は女の顔をしていない』

スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ(著)、三浦 みどり(訳)/社会 岩波現代文庫

※表紙画像は、出版社の許可を得て転載しています。

